横瀬地区公民館だより

発　　行：横瀬地区公民館
発行責任者：甲　野　菅　人
電話番号：５４１－５２８１

第2回 横瀬地区公民館文化教室作品展開催！

11月26日（土）～27日（日）の二日間、第2回文化教室作品展を開催しました。昨年同様に、陶芸教室・色紙絵教室・写真教室（さんげつ会）・子ども美術教室（アトリエジュムリ）・公民館女性学級の作品展示発表の場となりました。一つ一つの作品をじっくり観賞される方、教室生の作品についての説明に熱心に耳を傾けられる方、お子さんと一緒に家族で作品を観に来られた方、ご来場いただき本当にありがとうございました。

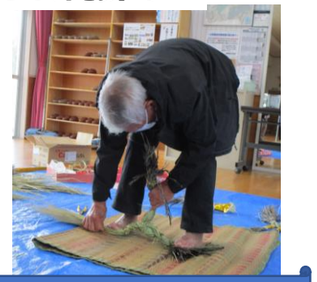
～色紙絵教室～

～陶芸教室～

～写真教室～

～子ども美術教室～

～女性学級生の藍染作品と正月しめ縄飾り～



麻生氏による実演講習！

26日は横瀬地区社会福祉協議会の焼き芋配布もあり、多くの方々から「甘くて美味しかった～♪」と大変ご好評いただきました。朝早くから準備してくださいました横瀬社協・ボランティアの皆さま、お疲れさまでした。

人権を考える講演会＆低栄養予防セミナー

日時 ： 令和5年 1月 13日(金) 10時～11時半

場所 ： 横瀬地区公民館 ホール

内容 ： ①人権を考える ～ヤングケアラーについて～

ヤングケアラーとは、家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護などのサポートを行っている18歳未満の子どものことです。大分県では昨年10～11月、小学5年～高校3年の全児童・生徒を対象にヤングケアラー調査を行いました。全体の72%にあたる5万7259人が回答し、そのうち世話をする家族がいると回答したのは4%（小学生6%、中学生3.8%、高校生2.5%）の2315人でした。家族の手伝い・手助けをするのは「ふつうのこと」と思うかもしれません。しかし、学校生活に影響が出たり、心や体に不調を感じるほどの思い負荷がかかっている場合は、周りの大人が状況に気づいて支援につなげることで、子どもを悩みから救うきっかけになる可能性は大いにあります。

②低栄養予防の食事について ～健康寿命を伸ばすために～

低栄養とは食欲の低下や、噛む力が弱くなる等の口腔機能の低下により食事量が減り、健康を維持するうえで必要な栄養が不足している状態のことをいいます。厚生労働省の調査によると65歳以上の低栄養傾向者は男性12.4%、女性20.7%です。健康維持のため、食生活についてあらためて一緒に考えてみませんか♪

※不足しがちな栄養分を凝縮した粉ミルク型の栄養補助食品のサンプルを差し上げます。